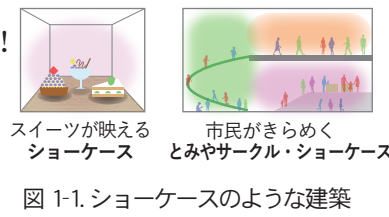


■「しあわせ」がきらめく建築

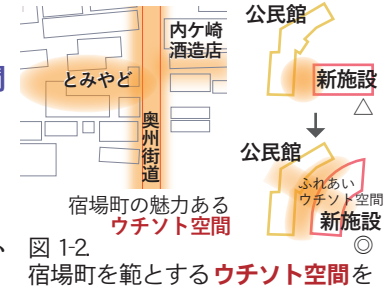
スイーツをひとくち…、うーん、しあわせ！！
この建築もまさに
“しあわせ”を味わえる場でありたい。
スイーツが映えるショーケースのように、
市民の“しあわせ”がきらめく建築！！



■魅力ある都市空間の創出

1) 建築と建築のあいだにできる外部空間 “ウチソト空間”の魅力

宿場町を魅力的にしている“ウチソト空間”
をお手本に、「成田公民館」との間に、
「ふれあい・ウチソト空間」を生み出すように、
新施設を配置します。



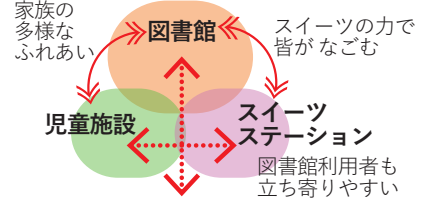
2) 成田地区の街区形状になじんだ形態

街区のサークル形状を明示する建築形態
とすることで、成田中心域にふさわしい
「とみやシティブランド」の拠点を創ります。として

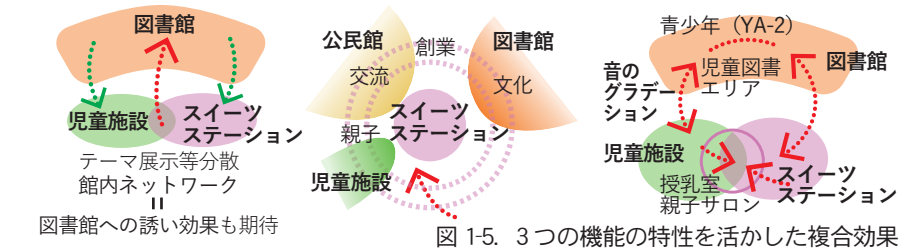


■3つの機能の組み合わせ方

違う味が口の中で溶け合って、新しい
おいしさを味わえるスイーツのように、
3つの機能が持ち味を発揮しつつ、
相乗効果を高めるように組み合わせます。

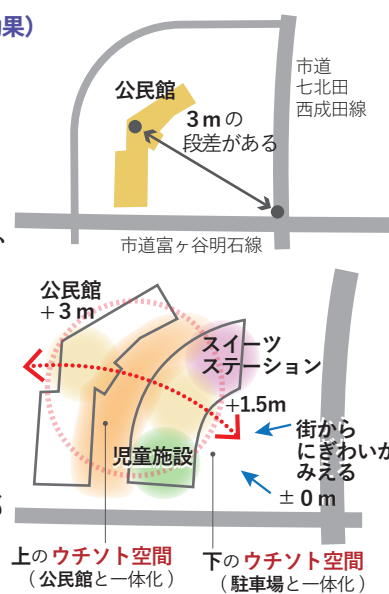


- ①大勢がくる、集客の要：「図書館」を2階にワンフロアで合理的にまとめつつ、人の流れをつくる
- ②感性を和ませる要：「スイーツステーション」はエントランス近く。来館者を皆、笑顔に！
- ③親子揃って遊べる要：「児童屋内遊戯施設」は元気を発散でき、①②にも行きやすく



■「公民館」も一体に（エリア全体の相乗効果）

さらに、スイーツ工房・オープンキッチン
として重ね使いする「成田公民館」も加え、
4つの機能の相乗効果を高めます。
とみや国際スイーツ博覧会のようなイベントを、より広く、よりワクワク、より感動的、
インスタ映えもするように、内外をつなげて
一体利用できる施設づくりを提案します。



■敷地段差の有効利用

前面道路（市道七北田西成田線）と公民館
1階では約3mの段差があります。1.5m
は外構の傾斜にて、残り1.5mは新施設内部
に取り込むことで、街から内部空間のにぎ
わいがみえるように、および外部空間の
＜使える平場を広く＞確保します。

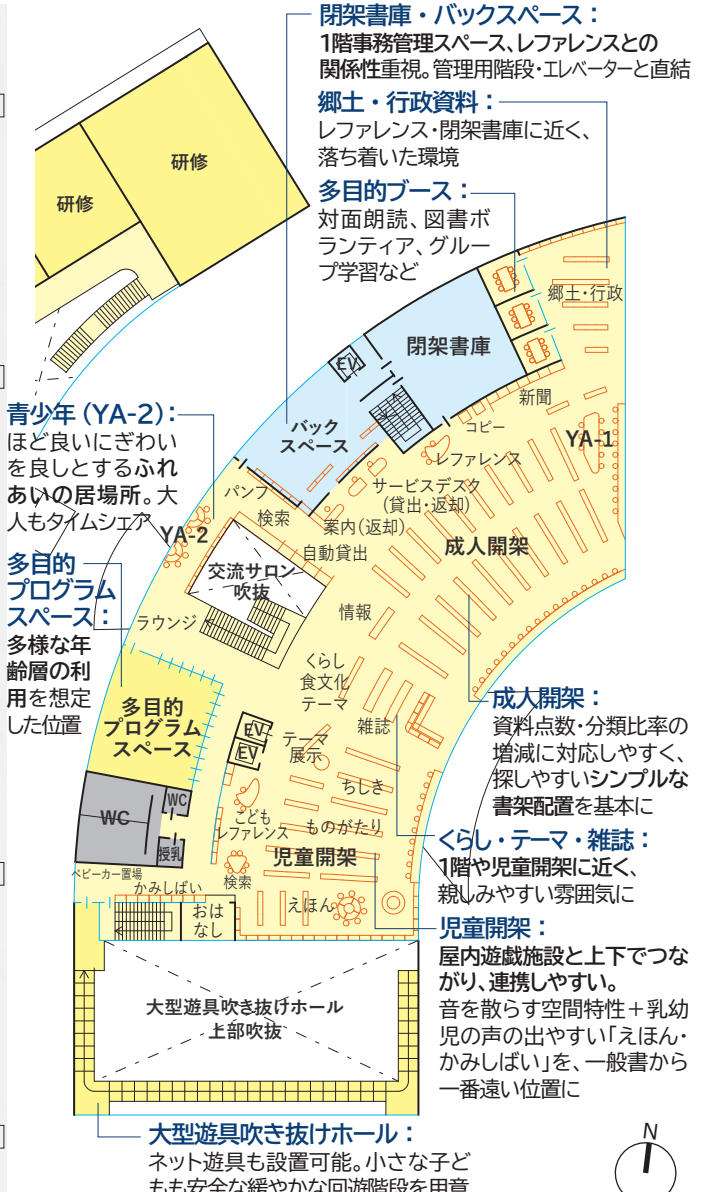


図 1-10. 平面イメージ